

音楽監督

山田和樹

指揮

バミンガム市交響楽団

KAZUKI YAMADA &
CITY OF BIRMINGHAM
SYMPHONY ORCHESTRA
HISAKO KAWAMURA, PIANO

ショスタコーヴィチ：祝典序曲
Dmitri Shostakovich: Festive Overture

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番
(ピアノ：河村尚子)
Sergei Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 in C minor, op.18

チャイコフスキー：交響曲 第5番
Pyotr Ilyich Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor, op.64

躍動するマエストロ
英国より熱狂ふたたび！凱旋を言祝ぐシンフォニー

西宮市出身
河村尚子
(ピアノ)

© Marco Borggreve

© Benjamin Ealovega



20th anniversary

兵庫県立芸術文化センター開館20周年記念公演

2025 **6/29** (日) 2:00PM開演 (1:15PM開場) A18,000円 B15,000円 C12,000円 D9,000円 E6,000円 (税込/全席指定)

ご予約お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 10:00AM-5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日 0798-68-0255 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急/バス7分)

一般発売 11/17 (日) チケット予約 ●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 11/16(土) ●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [11/19(火)より、残席がある場合のみ] ※未成年児童のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



待ち焦がれた熱狂、ふたたび！ さらなる高みへ挑むマエストロ・山田和樹の大いなる飛翔



2023年6月24日(土)
「山田和樹指揮/バーミンガム市交響楽団」公演
KOBELCO大ホール公演より
© 飯島隆

躍進止まらぬ 山田和樹ベルリン・フィル デビュー決定！ (2025年6月予定)

2024年4月、衝撃が世界中を駆け抜けてきました。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の2024/25シーズンプログラム発表に際し、定期公演における山田和樹の客演決定が発表されたのです！
「驚きました。ワッ！と叫んで5秒間は嬉しかったです。でも、その後は……」と、期待と緊張を同時に口にする山田マエストロ。日本人指揮者がベルリン・フィルの指揮台に立つのは、故小澤征爾の同オケへの最後の出演となった2016年4月の定期公演以来、実に9年ぶりのこと。また、定期公演での新たな日本人指揮者の起用は、2011年5月の佐渡裕以来、まさに、快挙です。
とどまることを知らぬ、山田ファイバー。マエストロの活躍から、今後ますます目が離せません！

何度も続いたカーテンコール。スタンディングオベーションの客席。拍手に応えるマエストロ。楽団員が劇場を出て帰る時には、2階のデッキから拍手で見送る多くのお客様の光景があった。西宮にそんな熱狂を呼んだ、前回の山田和樹指揮、パーミンガム市交響楽団(CBSO)。

マエストロの指揮は、音楽を呼び寄せ一まるで音が集まってくるよう。弦のうねり、金管楽器の輝かしさ、音色の美しい木管楽器群。指揮者とオーケストラが信頼し合っているのがわかる楽しい音楽。文字通り、「音」を「楽」しむ演奏を聴かせてくれた。我らが兵庫芸術文化センター管弦楽団の卒団メンバーがCBSOに入団した直後で、舞台上のプレトークで紹介してくれるというマエストロの粋な計らいもあった。

山田和樹氏は、今回の公演直前の6月に、ベルリン・フィルの定期演奏会出演が予定されており、その勢いを持って来館する。今やボストン交響楽団、シカゴ交響楽団など名だたるオーケストラからオファーを受けるなど、活躍目覚ましい。

今回、旬のマエストロが取り上げるのは、華麗なファンファーレが開始を告げる「祝典序曲」。続く「ピアノ協奏曲 第2番」で共演するのは、マエストロの盟友で、2024年には演奏活動20周年を迎えた河村尚子。数々のオーケストラとの共演をはたし、信頼関係を築くピアニスト。西宮出身、ドイツを拠点に活躍中。師匠譲りのラフマニノフをどのように聴かせてくれるのか、オーケストラとの化学反応をお楽しみに。そして最後に奏でられるのは、チャイコフスキーの人気作品、「交響曲 第5番」。作曲家が様々な精神的逆境に立ち向かいながら苦心の末に書き上げた名曲は、エネルギーで躍動感溢れ、管弦打一体となって「運命」を奏でる。

舞台上と客席が一体となる興奮の瞬間が、兵庫県立芸術文化センターにまたやって来る。

さあ、この跳躍に乗り遅れることなかれ。凱旋を言祝ぐ至極のシンフォニーを、ぜひ一緒に。

MESSAGE

CBSOメンバーと共にまた兵庫の皆さんにお会いできることをとても楽しみにしています！

いつも兵庫の公演では、プレトークの段階から独特の熱気を感じることが出来ます。そして、皆さんの熱さがそのまま演奏にも熱気をもたらしていきます。

CBSOの今シーズンのテーマはズバリ「Joy!」です。皆さんと一緒に楽しく熱い音楽を作り上げられるように頑張ります。

ご期待ください！

山田和樹

山田和樹(指揮) Kazuki Yamada, Conductor

2009年、第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパデビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でバリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2012年～2018年スイス・ロマン管弦楽団の首席客演指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2023年4月からパーミンガム市交響楽団の首席指揮者兼アーティストアドバイザーを務め、2024年5月には同団音楽監督に就任。日本では、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動し、2026年4月1日より東京芸術劇場の芸術監督(音楽部門)に就任予定。2023年はパーミンガム市交響楽団とのBBCプロムスに出演、ボストン交響楽団とのタングルウッド音楽祭でのデビュー、そして秋にはパーミンガム市交響楽団とのドイツ、スイスツアーを、2024年春にはヨーロッパ各地でコンサートを行った。また、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団への定期的な客演、ベルリンドイツ交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、シカゴ交響楽団にデビュー。2023年6月にはパーミンガム市交響楽団との日本ツアーも行った。2025年6月には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビューを予定している。音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込み、名実ともに日本を代表する人気マエストロである。はだのふるさと大使。ベルリン在住。



© 飯島隆

河村尚子(ピアノ) Hisako Kawamura, Piano

ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝。ドイツを拠点に、ウィーン響、バイエルン放送響などにソリストとして迎えられ、室内楽でもカーネギーホールなどで演奏。日本ではP.ヤルヴィ指揮NHK響など国内主要オーケストラ、ヤノフスキ指揮ベルリン放送響、ピエロフラウヴェック指揮チェコ・フィル等の日本ツアーに参加。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞ほか、2020年には第32回ミュージック・ベンクラブ音楽賞独奏・独唱部門賞、第12回CDショップ大賞2020・クラシック賞、第51回サントリー音楽賞を受賞。現在、ドイツのフォルクヴァング芸術大学教授。



© Marco Borggreve

バーミンガム市交響楽団 City of Birmingham Symphony Orchestra

バーミンガム市交響楽団(CBSO)は、イギリスを代表するオーケストラの一つである。2020年には創立100周年を迎えた。バーミンガムのシンフォニー・ホールを本拠地とし、イギリス全土、および世界各地で、毎年150回以上のコンサートを行い、世界的な名声を獲得している。また学習・参加型プログラムも積極的に手掛けている。1980年に当時無名だった若手指揮者、サイモン・ラトルを首席指揮者に任命。その後、サカリ・オラモ(1998-2008)、アンドリス・ネルソンス(2008-2015)、そしてミルガ・グラジニエーティラのもとで、CBSOはさらに実績を積み重ねた。そして2023年には2018年以来、首席客演指揮者を務めていた山田和樹が首席指揮者に、2024年5月から音楽監督に就任した。



© Hannah Fathers